

第168回 北海道地方交通審議会船員部会 議事概要

開催年月日 令和4年10月28日(金)

開催場所 札幌第二合同庁舎(8階会議室)

□議題□

1. 審議事項

なし

2. 報告事項

(1) 管内船員職業安定業務取扱状況(令和4年9月分)について

3. その他

(1) 船員部会への要望事項について

(2) 情報交換

(3) 次回の船員部会開催日について

□議事概要□

1. 報告事項

・事務局より、管内船員職業安定業務取扱状況(令和4年9月分)について、新規求人数28名・新規求職者数18名、新型コロナウイルス感染症の影響による離職者は0名であったこと、前職(在職者を含む)が陸上職である求職者は0名、前職が漁船で希望が商船である求職者(転換希望者)は1名であったこと、また、成立者は3名であったことなど報告があった。

2. 質疑応答

・労働者委員より、新規求人者の中で漁船・その他・甲板員の求人情報に関し、具体的な漁業種、操業期間について質問があった。
・事務局より、漁業種については「さんま棒受網漁業」、操業期間(雇用期間)については「9月から12月」であるとの回答があった。
・労働者委員より、離職理由等が「会社都合」により離職された方3名いるが、この方々の前船種、前職種、年齢、「会社都合」に至った背景について質問があった。
・事務局より、商船甲板部職員については、ガット船、航海士、年齢73歳、背景については売船のため、二人目は商船機関部職員、ガット船、機関士、年齢70歳、背景については同じく売船のため、三人目は商船甲板部部員、タンカー、甲板員、背景については体調不良により離職したとのこと。なお、現在は療養し、仕事はできる状態であるとの回答があった。

3. その他

・労働者委員より、「船員労働統計調査に関する現状と今後の検討状況」、「船員労働統計(基幹統計)」、「海事レポート2022」、「漁船分野における特定技能外国人について」、「北海道における外国人漁船員の現状の確認」についての資料提供及び概要説明の要望があった。
・事務局より、各種資料の提供及び概要説明の回答があった。
・労働者委員より、上記説明を受け、特定技能外国人制度については陸上が主で整備されている印象があり、船員法を所管する国土交通省の関与が薄く進められていたのではないかと。特定技能外国人漁船員の実態を把握してほしいとの意見があった。
・事務局より、海事局へ伝える旨回答があった。
・事務局より、「あっせん員候補者」を10月1日付け(2年任期)で委嘱し、「あっせん員候補者名簿」を事務局へ備え置いたとの報告があった。
・事務局より、前回の船員部会において使用者委員から質問があった、次世代内航電気推進タンカー船「あさひ」の詳細情報について回答があった。
・労働者委員より、全日本海員組合第83回定期全国大会が11月1日～2日の日程で開催されるとの報告があった。
・事務局より、海事局で作成した「船員労働ハンドブック」及びリーフレット、日本海事広

報協会が作成した「SHIPPING NOW 2022-2023」、知床遊覧船事故対策検討委員会（第7、8回）の資料提供があった。

- ・労働者委員より、通報窓口への通報方法について、匿名による通報は見直すべきとの意見が再度あった。
- ・労働者委員より、知床遊覧船事故対策検討委員会の資料提供については引き続き行っていただき、船員部会の場合でも意見をあげることができる体制にしてほしいとの要望があった。
- ・事務局より、海事局でとりまとめている「令和4年度最低賃金審議等状況（令和4年10月25日付）」の情報提供及び船員最低賃金専門部会の日程についての協力依頼があった。
- ・事務局より、次回の船員部会は、令和4年11月25日（金）13時30分より開催する予定であると連絡があった。

（以 上）

北海道運輸局海事振興部船員労政課